

漆喰くるむ[®] 専用ベース材

漆喰くるむ専用ベース材は、カチオン性粉末樹脂を配合した、
無塗装サイディングボードや断熱ボードに塗れる高性能下塗り材です。
当社耐アルカリガラスネット併用で、抜群のひび割れ抵抗性を発揮します。
その他、**カチオン性下塗り材**として内・外部の特殊下地に施工できます。

漆喰くるむ 専用ベース材

下地の動きに追従する“しなやかさ”と優れた“接着力”を兼ね備えた下塗り材です。窯業系無塗装サイディングボードや断熱ボードに塗ることができ、ひび割れを防止します。

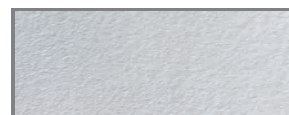
耐アルカリ ガラスネット

高強度のガラスネットです。耐アルカリコーティングしているため、モルタルや漆喰でも安心して使用できます。漆喰くるむ専用ベース材と組み合わせることで、優れたひび割れ抑制効果が得られます。

漆喰くるむ 外

従来の漆喰を超える優れた機能性を持つ漆喰です。耐ひび割れ性や接着性が高く、外壁での使用でも抜群の耐久性を発揮します。専用ベース材とネットを併用することで、耐久性はさらに向上します。

標準仕様			
製品名	漆喰くるむ専用ベース材		
分類	ポリマーセメント系下塗り材		
適用下地	窯業系無塗装サイディングボード・断熱ボード (EPS・XPS・PEなど) コンクリート、モルタル、石膏プラスターボード、ケイ酸カルシウム板、各種合板、溶剤系塗料、水性塗料など		
適用仕上材	外壁: 窯業系無塗装サイディングボード、断熱ボードの仕上げには、漆喰くるむ外をご使用ください。 内壁: 漆喰全般 (弊社漆喰製品を推奨)		
標準塗り厚	1~2mm	塗り面積	約10㎡/袋 (1.5mm厚)
標準配合	粉体1袋 (20kg) あたり、清水4.4~4.8ℓ		



灰白色 (日塗工近似色: HN-90)

NET 20kg

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1808007
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

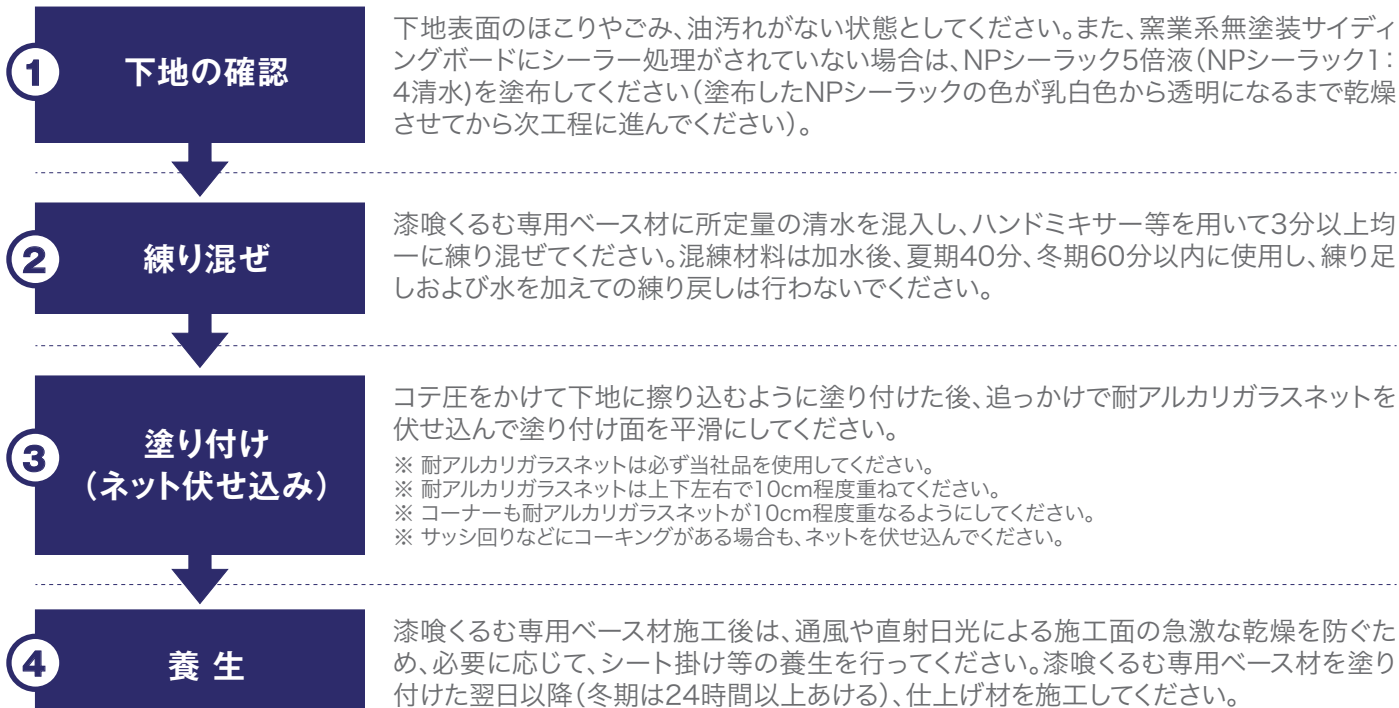
※表記の色は印刷色のため実物と異なります。



Best Walls, Best Life しっくいと共に

日本プラスター株式会社

漆喰くるむ専用ベース材の施工方法（窯業系無塗装サイディングボード、断熱ボードへの施工）



その他の下地については、必要に応じて耐アルカリガラスネットを併用して、施工を行ってください。（吸水の激しい下地に施工する場合は、事前にNPシーラックの5倍液を塗布してください。合板などアクの発生が予想される下地には、事前にウルトラナノ浸透プライマーの原液を2回以上塗布してください。）

■各種下地に対する付着強さ

下地種類	付着強さ (N/mm ²)	下地種類	付着強さ (N/mm ²)
	標準養生		標準養生
窯業系無塗装サイディングボード	1.1 (下地材破壊)	水性アクリル塗料	1.4
断熱ボード (XPS, 押出法ポリエチレンフォーム)	0.6 (下地材破壊)	水性アクリルシリコン塗料	1.5
断熱ボード (EPS, ビーズ法ポリエチレンフォーム)	0.2 (下地材破壊)	油性塗料	1.3
断熱ボード (PE, フェノールフォーム)	0.2 (下地材破壊)	石膏プラスターボード	0.2 (下地材破壊)
モルタル	1.4	ケイ酸カルシウム板	0.4 (下地材破壊)
構造用合板	0.8		

養生条件: 20℃, 65% R.H. 14日間養生 日本プラスター (株) 試験室

●耐アルカリガラスネットは当社品を使用してください。●気温5℃以下、35℃以上の場合は施工を見合わせてください。●混水量は守ってください。混水量の過多・過少により、不具合が発生する場合があります。●早期乾燥の恐れのある強い日射や強風の場合は、シート養生等を実施してください。●製造日をご確認ください。有効期限は製造日より1年間です。

※露出仕上げでは使用しないでください。

注 意 事 項

〈使用上の注意〉●取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。●取扱いは換気の良い場所にて行ってください。●取扱い後はうがい及び手洗いを十分にしてください。●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。〈応急処置〉●目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。●皮膚に付着した場合は、直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。●誤飲した場合は、大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。〈運送上の注意〉●袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。●転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。●湿気、水濡れに注意してください。〈廃棄上の注意〉都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。〈漏出時の注意〉飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。



日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851
東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048
西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032

E-mail: info@plastesia.com

日本プラスター

検索

2022.03_A